

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名　　鶴見区

学 校 名　　大阪市立鶴見小学校

学校長名　　大東　正之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・鶴見小学校では、第6学年 59名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率においては大阪市より1ポイント、全国より0.8ポイント上回っている。算数の平均正答率においては大阪市より6ポイント、全国より5.5ポイント大きく上回っている。平均無回答率は、国語においては、大阪市、全国の平均より低く、粘り強く取り組めている。算数においては、大阪市、全国の平均より0.3～0.6ポイント高い結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の領域（言葉の特徴や使い方に関する事項、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）において、大阪市、全国の平均と同程度である。特に「書くこと」については、大阪市・全国の平均を2ポイント上回っており、基本的な知識・技能はある程度習得しており、主体的・対話的な学習の成果が出ていると捉えることができる。

〔算数〕

学習指導要領のすべての領域について、全国平均を上回る結果であった。特に、数と計算の領域で全国平均を7.6ポイント上回った。平均無回答率が3.7と、全国平均より0.3ポイント高くなっている。問題別にみると、基本的な知識・技能は身についているといえる。

質問紙調査より

朝食をきちんと食べている児童が多い。「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」の質問内容で、肯定的に回答する児童が多く、道徳心や規範意識の高さが伺える。しかし、「自分には良いところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」の質問に対しては、肯定的回答が全国平均よりもやや低めであり、自己有用感が低いといえる。

「読書が好きですか」の項目は全国を下回っている。読書への関心を高め、語彙力や表現力の習得が必要である。

また、「国語の学習が好きですか」の質問に対し、肯定的回答が全国平均より下回っているが、「国語の授業はよくわかる」の質問に対する肯定的回答が全国平均よりも大きく上回っている。「算数の学習が好きですか」「算数の授業はよくわかる」の質問に対し、肯定的回答が全国平均とほぼ同等（0.3～0.5ポイント上回っている）であった。

以上のことから、学習が分かるだけでなく、問題を解決したり学習したりすることが楽しい、やってみたいと思えるような学習の過程を意識した授業を日々実践し、自尊感情を育てていくことが課題である。

今後の取組(アクションプラン)

昨年度に引き続き研究教科を算数とし、「主体的・対話的な学習活動の充実を目指した算数科の指導」を研究の主題とし授業研究に取り組んでいる。子どもたちが進んで参加したくなるような授業づくりの工夫と、効果的な話し合い活動の工夫を視点として、児童が興味を持ちながら進んで授業に参加し、友達の意見などを聞き、話し合いを通して学ぶ楽しさやわかる喜びを味わわせ、学習意欲を高めていくことにつなげられるように取り組んでいく。学習を効果的に進めるためには基礎基本の定着が必要であるため、朝の時間を用いた、計算、読書タイムを継続して実践していく。学習の楽しさや自力解決できた喜びを味わうことから、子どもたちの自己有用感を高めていけるような活動に繋げていきたい。

【 全体の概要 】

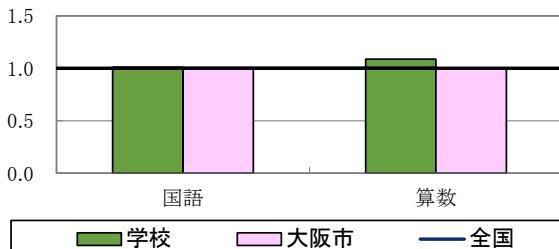
平均正答率 (%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 学校 | 68 | 68 |
| 大阪市 | 67 | 62 |
| 全国 | 67.2 | 62.5 |

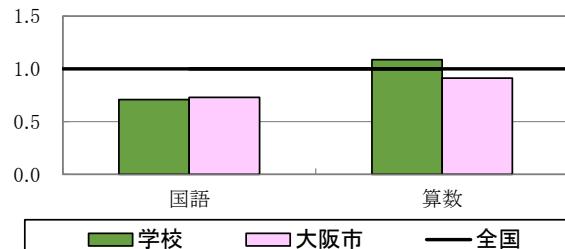
平均無解答率 (%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|-----|-----|
| 学校 | 3.4 | 3.7 |
| 大阪市 | 3.5 | 3.1 |
| 全国 | 4.8 | 3.4 |

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



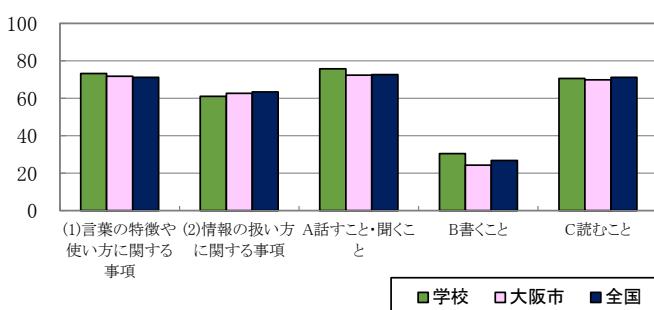
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|--------------------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 5 | 73.2 | 71.7 | 71.2 |
| (2)情報の扱い方に関する事項 | 2 | 61.0 | 62.6 | 63.4 |
| (3)我が国の言語文化に関する事項 | 0 | | | |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 75.7 | 72.4 | 72.6 |
| B 書くこと | 1 | 30.5 | 24.2 | 26.7 |
| C 読むこと | 3 | 70.6 | 69.9 | 71.2 |

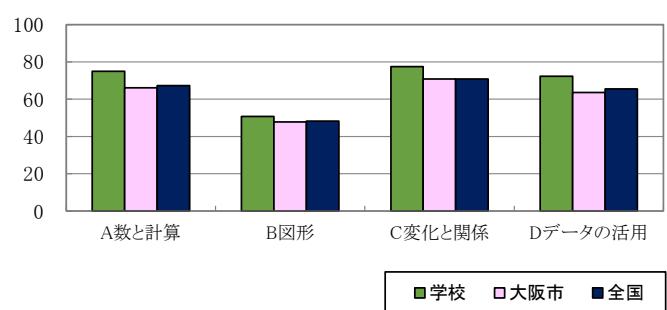
【 算 数 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と計算 | 6 | 74.9 | 66.1 | 67.3 |
| B 図形 | 4 | 50.8 | 47.8 | 48.2 |
| C 測定 | 0 | | | |
| C 変化と関係 | 4 | 77.5 | 70.8 | 70.9 |
| D データの活用 | 3 | 72.3 | 63.6 | 65.5 |

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



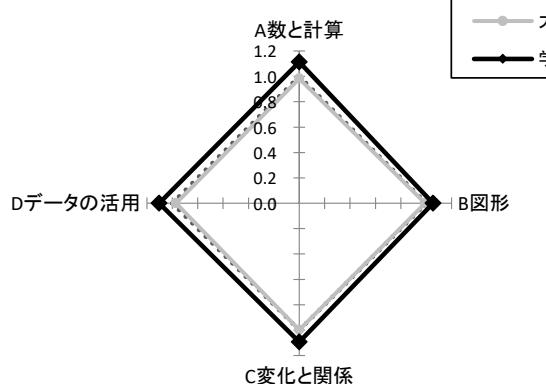
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



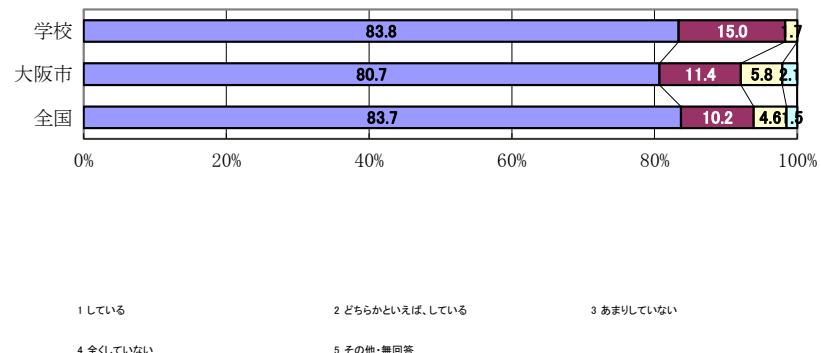
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

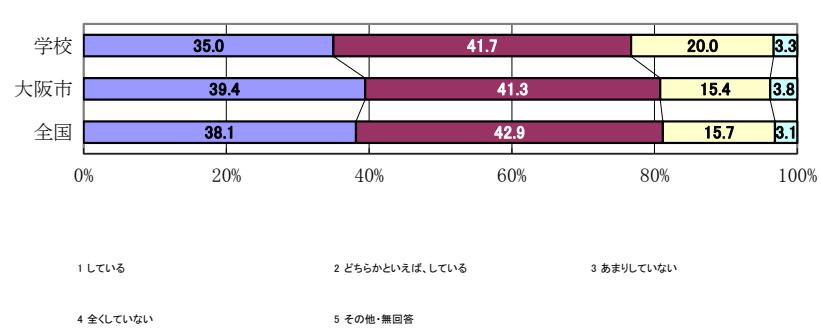
1

朝食を毎日食べている



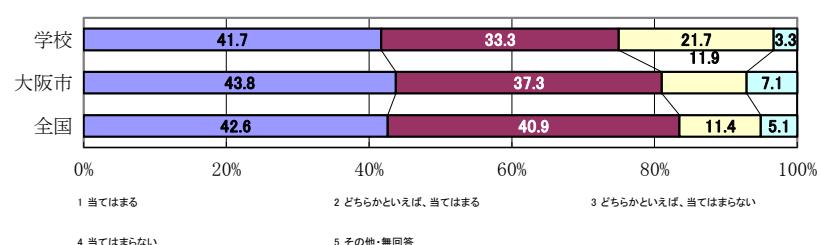
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



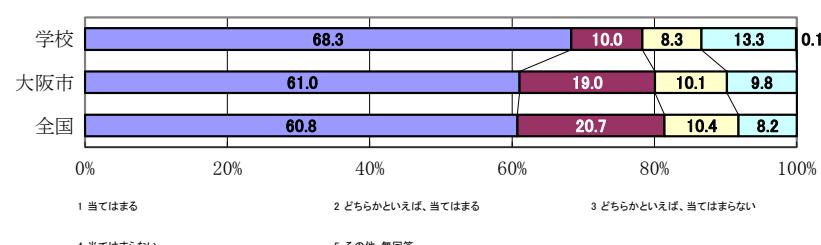
4

自分には、よいところがあると思う



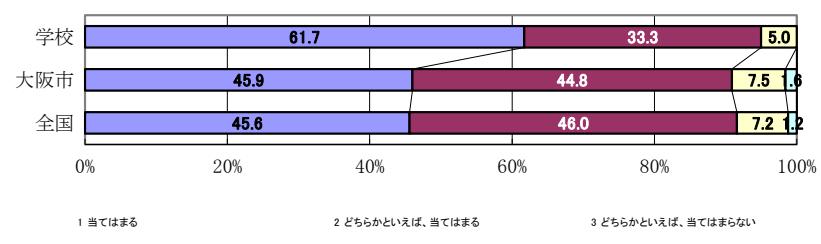
7

将来の夢や目標を持っている



8

人が困っているときは、進んで助けている



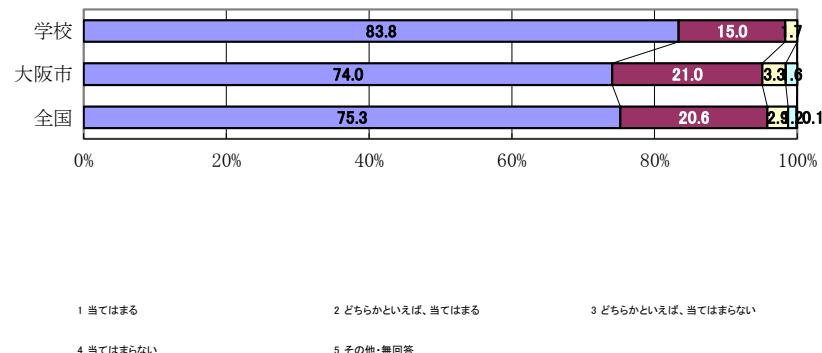
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

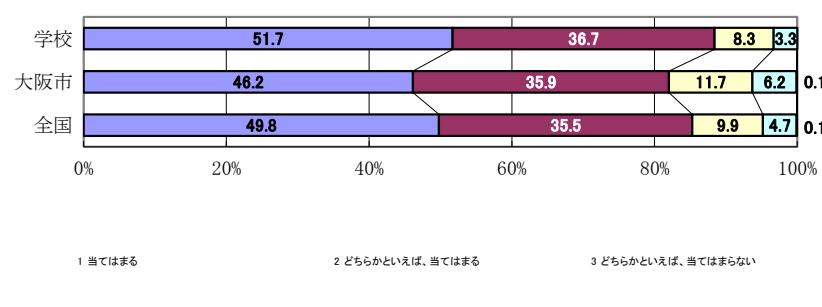
11

人の役に立つ人間になりたいと思う



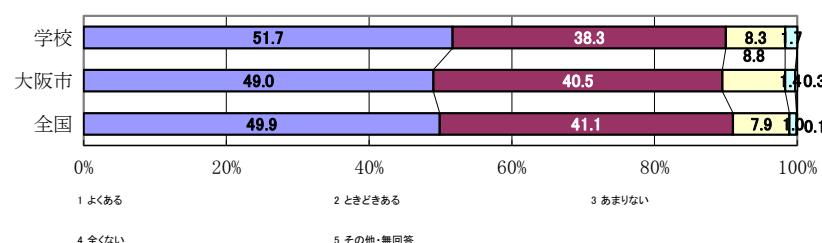
12

学校に行くのは楽しいと思う



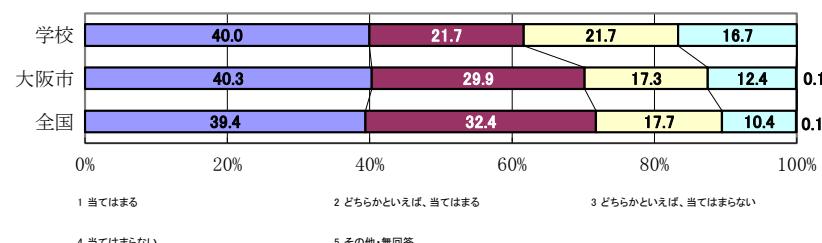
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



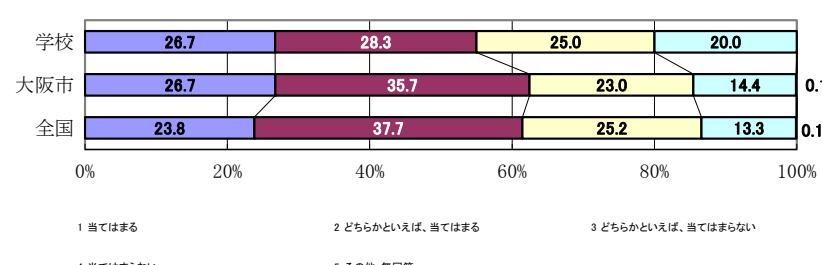
24

読書は好きですか



43

国語の勉強は好きだ



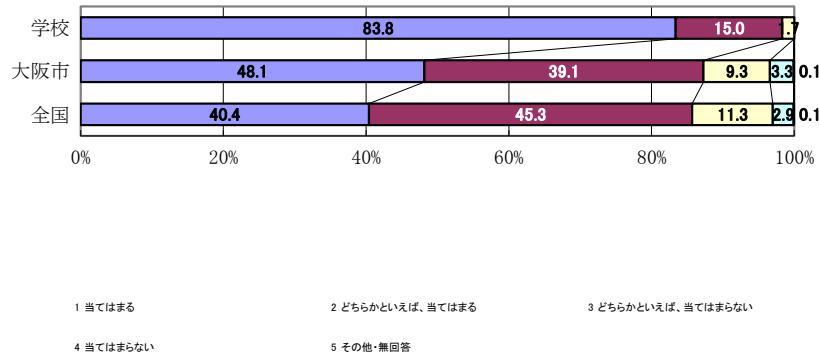
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

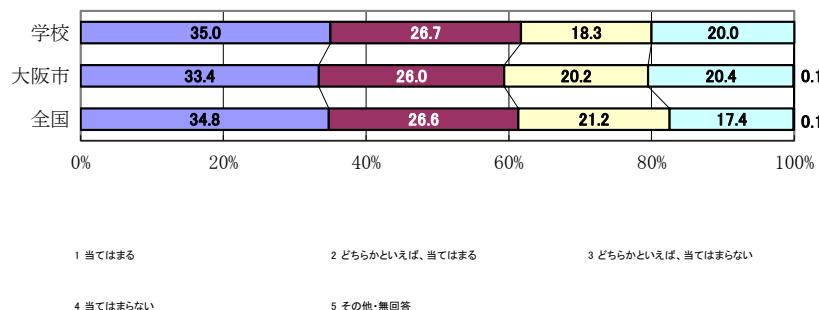
45

国語の授業の内容はよく分かる



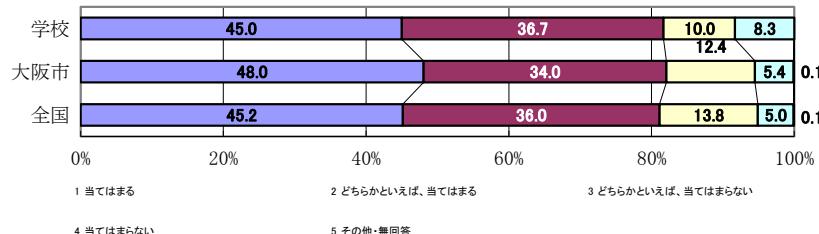
51

算数の勉強は好きだ



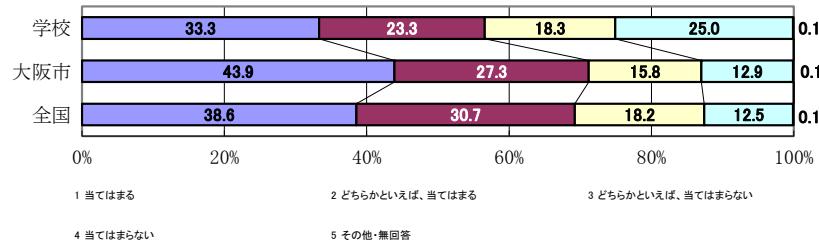
53

算数の授業の内容はよく分かる



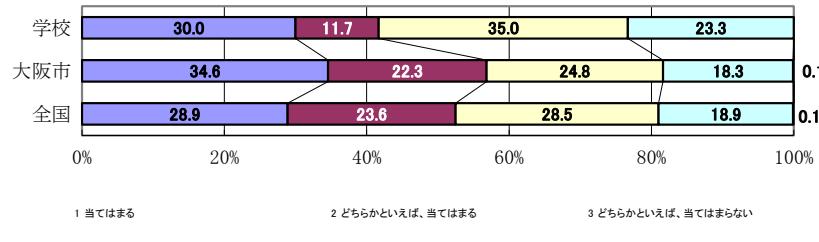
55

英語の勉強は好きだ



57

将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う



学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

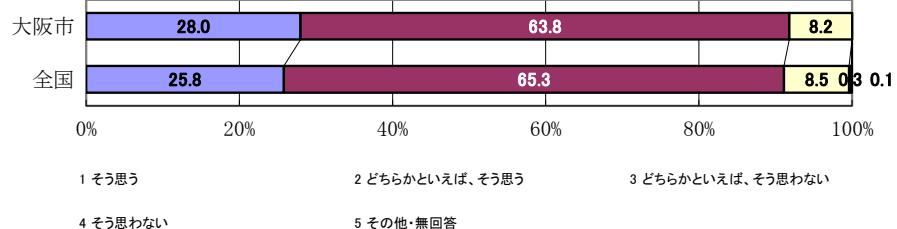
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

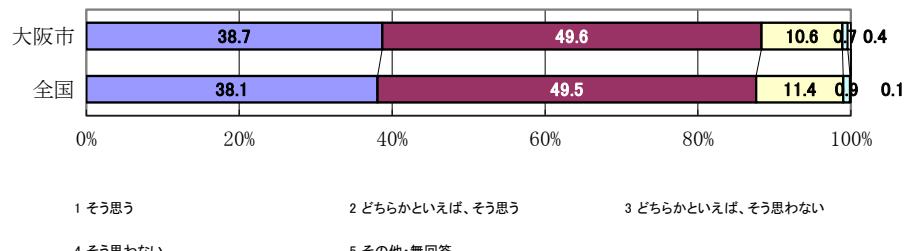
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

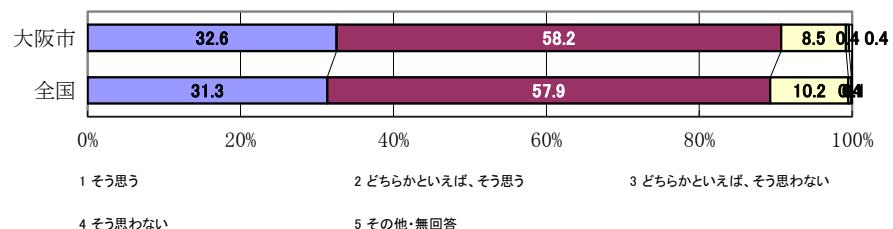
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



10

調査対象学年の児童は、礼儀正しい

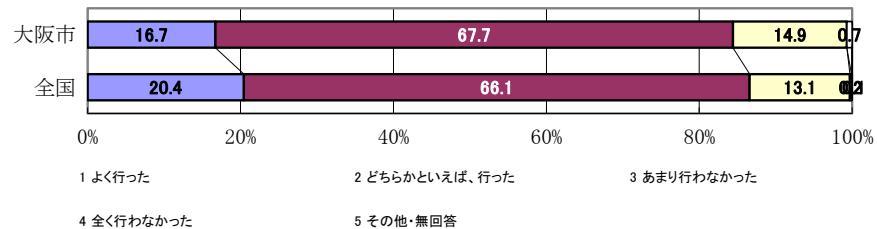
学校 「そう思う」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

